
2012年（平成24年）度関東学生水球リーグ戦

兼 第88回日本学生選手権水泳競技大会〈水球競技〉

関東支部予選会 実施要項

<主催> 公益財団法人日本水泳連盟 学生委員会 関東支部

<主管> 神奈川県水泳連盟、埼玉県水泳連盟（予定）

<期日> (男子1・2部) 5月26日(土)、27日(日)、6月2日(土)、3日(日)、9日(土)、
10日(日)、16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)
(女子) 同上日程内にて実施

<会場> 日本体育大学健志台プール、早稲田大学所沢プール、専修大学生田プール、
その他 関東近郊施設（予定）

<競技方法>

(1) リーグ構成

- ① 男子は、前年度関東学生水球リーグ戦の結果に基づき、上位8チームを1部、それ以外のチームを2部とする2部構成とする。
- ② 女子は、参加チーム数に応じて構成を決定する。
- ③ 前年度参加チームの不参加が事前に確認できた場合は、不参加チームの下位のチームの順位を繰り上げる。不参加チームが次年度若しくはそれ以降再び参加する場合は、全参加チームの最下位に位置付ける。

(2) 試合形式

- ① 男子1部は、予選リーグとして8チームにて1回戦の総当り戦を行い、さらに上位4チームの総当り戦、下位4チームはトーナメント戦にて順位を決定する。なお、上位4チームの順位決定リーグでは予選リーグの結果を1回戦とみなし2回戦制として順位を決定する。男子1部は8分×4P（インターバル2分、5分、2分）とする。
- ② 男子2部は、2ブロックに分け各ブロック1回戦の総当り戦を行い、上位4チームは1回戦の総当り戦、下位はトーナメント戦を行い最終順位を決定する。男子2部は8分×4P（インターバル2分、5分、2分）とする。

- ③ 最終順位決定後、1部7位と2部2位、1部8位と2部1位が1回戦の入替戦を行い、その結果に基づき次年度のリーグ構成および第88回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>関東支部出場権獲得チームを決定する。
- ④ 女子は、参加チーム数に応じて試合形式を決定する。女子は7分×4P（インターバル2分、2分、2分）とする。

(3) ゲーム形式

- ① 総当たり戦では延長戦は行わず、勝ちを3点、引き分けを1点、負けを0点とする勝点制により順位を決定する。
順位決定トーナメント戦では、同点の場合は延長Vゴール方式にて勝敗を決定する。(8分間の延長でも同点の場合は主将トスによる抽選とする)
- ② 2チームの勝点が同点の場合は、対象チームの直接対戦成績により順位を決定する。直接対戦が同点だった場合、同一リーグ内の他チームとの対戦成績に基づいて順位を決定する。まず得失点差を比較し、次に得点を比較する。このとき、順位の最も高いチームから1チームずつ順次比較していく。それでもなお同点だった場合は、主将トスによる抽選で順位を決定する。
- ③ 3チーム以上の勝点が同点の場合は、対象チーム間の対戦結果で順位を決定する。まず対象チーム間の勝点、次にコールドゲーム数、その次に得失点差、そして総得点を比較する。このとき、対象チームが2チームに減った段階で、上記②を適用する。それでも3チーム以上が同点だった場合、同一リーグ内の他チームとの対戦成績に基づいて順位を決定する。まず得失点差を比較し、次に得点を比較する。このとき、順位の最も高いチームから1チームずつ順次比較していく。それでもなお同点だった場合、抽選によって順位を決定する。
- ④ 入替戦において第4ピリオド終了時に同点の場合は、財団法人日本水泳連盟水球競技規則に則り、延長戦、ペナルティーシュート戦にて勝敗を決定する。
- ⑤ いずれの試合も15点差がついた時点でコールドゲームとし試合を終了する。ただし、第2ピリオドまでは実施する。
- ⑥ 試合不成立の場合は、不参加または失格したチームを0対15にて不戦敗（コールドゲーム）とする。

(4) 第88回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>関東支部出場権

本リーグ戦の入替戦後の順位の上位6チームを、第88回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>関東支部出場権獲得チームとする。ただし、第87回大会上位4チーム（シードチーム）を除く。

女子エキシビジョンには本リーグ上位2チーム（第87回大会上位2チーム（シード））を除く。

(5) 組合せ

申込締切後、事務局より各チーム宛に連絡する。

<グラウンドルール>

- (1) ベンチには6名までの交代選手、監督1名、コーチ・チームオフィシャル2名が入ることが出来る。監督・コーチ・チームオフィシャルは本部にて交付される役員証を着用の上ベンチ入りすること。監督は正装・チームユニフォーム等品位ある衣服を着用すること。
- (2) メンバー表は、試合開始60分前までに本部席に提出すること。メンバー表にはベンチ入りする監督名を記入すること。
- (3) 帽子は組合せ表の左側のチームを白、右側のチームを青とする。他の色の帽子の着用を希望する場合はメンバー表提出時に本部席まで申し出、承認を得ること。その場合、帽子と同色のセクレタリー用の旗を一本用意すること。
- (4) ベンチサイドは、本部席から見て左側を白チーム、右側を青チームとする。
- (5) 招集は試合開始15分前に行う。選手はメンバー表通りの帽子を着用し招集を受けること。招集時に不在の選手は当日の試合に出場することはできない。招集時7名未満のチームには、責任者(監督・コーチ・キャプテン)に当該人数での試合実施の是非を確認する。
- (6) 棄権する場合は、当日の第一試合開始30分前までに、所定の用紙に必要事項を記入して本部席に提出すること。時間を過ぎた場合は、棄権料10,000円を徴収する。
- (7) チームの水着は同一の生地・デザイン・色とする。
- (8) 競技役員・補助役員(3名)派遣他定められた役務を全うしないチームは失格扱いとすることがある。
- (9) ウォーミングアップは会場毎定められた場所、時間にて行うこと。
- (10) 会場内でカメラ・ビデオ等の撮影を行う場合は、本部席にて撮影許可証の交付を受けること。
- (11) 上記の他は、(公財)日本水泳連盟水球競技規則、及び水球一般規則に従う。

<表彰>

- (1) 男子各部及び女子の上位3チームを表彰する。
- (2) 男子各部及び女子の最多得点者を表彰する。

<参加資格・制限>

(1) チーム

2012年度(公財)日本水泳連盟学生委員会関東支部加盟校であること。

(2) 選手

2012年度 (公財) 日本水泳連盟学生委員会関東支部競技者登録を完了していること。

(3) 「連合チーム」の参加について

複数の加盟校からなる「連合チーム」の参加を認めることがある。ただし、最下部リーグでの単年度のみ参加とし、入替戦および日本学生選手権水泳競技大会への出場権はない。

「連合チーム」としての参加を希望するチーム・選手は事前に事務局に相談すること。

(4) 競技役員・審判員派遣

参加チームは、(公財) 日本水泳連盟またはその加盟団体が発行する競技役員資格を有する競技役員、及び(公財) 日本水泳連盟水球審判資格を有する審判員を、最低1名ずつ派遣すること。

(5) 補助役員派遣

参加チームは、割当表に従い3名ずつのセクレタリー他の補助役員を派遣すること。補助役員はルールに精通している者で、競技を支障無く運営出来るものとする。

<申込方法>

(1) 参加申込

所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、指定の期日までに学生委員会関東支部水球実行委員会に申し込むこと。詳細については、別途連絡する。

申込締切日：2012年4月21日(土)

申込金：1チームにつき90,000円(男子) 30,000円(女子)

<監督者会議(予定)>

5月19日(土) 18:00～岸記念体育会館内会議室(予定)

※ 監督者かこれに代わるチーム責任者が出席すること。欠席の場合は、事務局側で厳正な抽選を行うとともに、会議決定事項については議長に委任するものとする。

<問合せ先>

(公財) 日本水泳連盟 水球委員会 競技運営部/学生委員会 関東支部 水球担当
帖佐 晋治(ちょうさ しんじ)

携帯電話：080-3420-2671 Eメール：s.chosa@dentsu.co.jp

(公財) 日本水泳連盟 学生委員会 関東支部 水球実行委員長/中野 司(国際武道大学)
携帯電話：090-7827-7114 Eメール：budai_wp_2ka@yahoo.co.jp

<本年度リーグ構成（前年度結果）>

（男子1部）

- 1位 日本体育大学※
- 2位 早稲田大学※
- 3位 日本大学※
- 4位 筑波大学※
- 5位 専修大学
- 6位 中央大学
- 7位 慶應義塾大学
- 8位 国際武道大学

（男子2部）

- 1位 新潟産業大学
- 2位 成蹊大学
- 3位 東京大学
- 4位 明治大学
- 5位 仙台大学
- 6位 学習院大学
- 7位 防衛大学校
- 8位 東京工業大学
- 9位 成城大学
- 10位 一橋大学

※第88回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>シードチーム

（女子）

- 1位 日本体育大学※
- 2位 東京女子体育大学※
- 3位 早稲田大学
- 4位 新潟産業大学
- 5位 日本女子体育大学・中央大学連合

※第88回日本学生選手権水泳競技大会<水球競技>エキシビジョンシードチーム

以上